



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数……………856人
医師……………167人
コメディカル……………689人
【管理栄養士紹介登録数 47人】
 平成22年10月20日現在

《目次》

- ◆「君死にたもうことなかれ」 堀口ハル子先生……Page 1
- ◆研究会等の実施報告……………Page 2-3
- ◆研究会のお知らせ他……………Page 3-4

「君死にたもうことなかれ」

当会理事 医療法人社団 糖和会 近藤医院 堀口 ハル子

秋、落ち葉を踏みしめて歩くとき、ふと様々な人との出会いと別れが思い出されます。中には、看護師と患者の関係をを超えて、人として鮮烈な印象を残された方もいらっしゃいます。そのお一人をご紹介します。



● 乳がんを超えて

Hさん（54歳）はとても明るい女性です。ご夫君は失明、Hさんも重度の視力障害がありますが、糖尿病の治療に通院されていました。2007年、乳ガンが見つかり、手術。お見舞いにかがうと、乳がん用パットがほしいとのことでした。

私は、1998年に靴の研修でドイツに参りました。その折にご一緒した京都の医療器具専門会社・大井製作所の女性社長が、フランス製の乳がん用カップを取り扱い、女性たちから喜ばれているというお話をされていたのを思い出し、早速連絡、抜糸の日にパットをお届けしました。Hさんは、とても喜んでくださいました。

その後、ガンは肝臓に転移。もはや手術は不可能とのこと。ご夫妻は「あとどのくらい時間が残されているのかを知りたい。病院に尋ねても回答が得られないので教えてほしい。」と来院されました。

担当医が丁寧に病状をご説明し、あと3～6ヶ月くらいと告げると、感謝し、席を立たれました。待合室では泣き崩れたHさんでしたが、帰りには笑顔が戻っていました。

まもなく、彼女は友人からのプレゼントという毛糸を持参され、きれいなピンク色なのでどうしても編んで欲しいと希望されました。あいにく、私も医院のスタッフたちも編み物は不得手です。手芸店にもあたりましたが無理。困っていたところ、大井製作所さんが、それではと、スタッフ（男性も）皆でクッションやテーブルセンターを制作し、あたたかなお便りを添えて送ってくださったのです。ありがたいことでした。

Hさんは、声楽のレッスンを受けていました。最後のコンサートでは、与謝野晶子の『君死にたもうことなかれ』を歌われました。生命の尊さを語りかける曲を彼女はどのような思いで歌われたのでしょうか。私は、晴れやかなHさんの舞台姿を嬉しく拝見すると同時に、涙がこぼれて止まりませんでした。

その1ヶ月後、Hさんはこの世を去りました。

いつか訪れる「死」をどう受け入れるか。「生きる」とはどういうことか……。舞い散る枯れ葉に、Hさんの面影が重なる秋です。

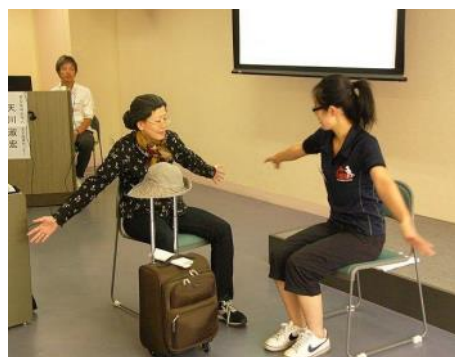
研究会等の実施報告

第4回西東京運動指導スキルアップセミナー

★平成22年10月2日(土)～3日(日) 1泊2日の勉強会

当会評議員 多摩丘陵病院 診療技術部栄養科 科長 原 純也

「西東京運動指導スキルアップセミナー」は秋晴れとなった10月2日・3日の2日間、「高尾の森わくわくビレッジ」に受講者30名、スタッフ24名が参加し開催されました。セミナーは植木彬夫先生(代表世話人)を始めとし世話人やタスクフォースが運動療法の意義、有酸素運動・筋抵抗運動・筋調整運動の講義や、ウォーキング、椅子を使った筋抵抗運動、ストレッチ、ノルディックウォーキングなどの実技指導を行い、患者指導のための運動プログラム作成の技術や知識を深めました。メインのテーマは3人のスタッフが演じる「働き盛りで忙しいメタボの男性」「リバンウンドを繰り返す女性」「認知症の家族を抱え関節痛や腰痛のある高齢女性」に対して6グループに分かれ運動プログラムを作成することでした。迫真の演技を行う模擬患者に対して受講者は圧倒されながらも一生懸命に聞き取りを行い、患者に合った運動療法目標や行動目標を立て、テーラーメイドの運動プログラム作成シートを作成しました。最後



に実際に立案された運動プログラムを模擬患者へ実践指導を行う「ロールプレイ」を行いました。模擬患者に対する参加者の真剣な指導に対して患者自身が指導の評価を行いました。やってみようとうなずく患者、なかなか納得できない患者など実践の運動指導の難しさを改めて知ることになりました。運動プログラムの作成は運動療法の重要な方向性を示すとともに模擬患者を利用するセミナーのあり方はこれからの方向性も示していました。最後のB B Qで全員満足した笑顔が印象的なセミナーでした。

第10回TAMA生活習慣病フォーラム

当会評議員 かたやま内科クリニック 院長 片山 隆司

平成22年9月18日(土)に調布市文化会館 たづくりにて、第10回TAMA生活習慣病フォーラムが開催されました。

テーマは「糖尿病を取り巻く社会事情 ～医療経済と高齢者医療を考える～」。第I部では伊藤先生より 糖尿病専門クリニックにおける医療経済(経営)の現況を患者さんからの視点をまじえ、明快にご講演いただきました。第II部では 荒木先生より高齢者の糖尿病治療を症例提示を含めながら解説していただきました。第III部パネルディスカッションでは インスリン療法からの離脱を余儀なくされた高齢者一例を呈示し 老々介護の難しさや今後のチーム医療の課題が議論されました。フロアの参加者からも認知症のある高齢者のケアの問題点が発言されるなど、活発な討論が行われました。



第9回 西東京CDE研究会総会

～CDEのあるべき姿を模索しよう～



当会理事 北里大学薬剤部 薬物治療学Ⅲ教室 講師 井上 岳

この度「西東京CDE研究会」の第9回目の総会を約120名のコメディカルが集まり開催いたしました。

第一部は当研究会世話人の緑風荘病院栄養室主任 西村一弘先生に「小児1型サマーキャンプってどんなことをしているの?」という演題で、サマーキャンプの内容やスタッフの関わりなどをわかりやすく講演していただきました。第二部は神奈川県糖尿病療養指導士会から総合新川橋病院糖尿病代謝内科部長 調進一郎先生とヤマガタ薬局 岡崎千栄子先生の二人の先生をコメンテーターとしてお招きし、「CDEのあるべき姿を模索しよう」と題した意見交換会行いました。

まず意見交換会の前に、調先生より、「なぜ、日本糖尿病療養指導士制度があるのに地域糖尿病療養指導士を作ったのか?」などCDE育成への熱い思いをご講演いただき、岡崎先生から「患者さんへの療養指導がんばろう、でも栄養のことぜんぜんわからない」という生の声から立ち上げた、神奈川県女性薬剤師会主催の栄養勉強会<エーゼミ>について講演いただきました。意見交換会では、①普段の療養指導はどのように工夫しているのか?②せっかく資格を持っているが、部署・環境が変わり能力が発揮できないときはどうするか?③職種に特化した部分とグレーゾーンの部分をどう扱っていくか?など、様々な意見交換がなされました。意見交換を通じ、特にグレーゾーンをどう活用できるかが「CDEのあるべき姿」に大きく影響すると感じました。

今後も皆様と「CDEのあるべき姿」について一緒に考えていきたいと世話人一同切に望んでおります。



研究会他のお知らせ

◆直接事業 ◆間接事業 □その他

◆ 第8回西東京糖尿病心理と医療研究会 ワークショップ開催 (※お申し込みが必要です)

開催日時：平成22年11月6日(土) 17:00～21:00

平成22年11月7日(日) 9:00～13:00 (2日間)

場 所：多摩永山情報教育センター

(京王線「京王永山」駅 または 小田急多摩線「小田急永山」下車 徒歩5分)

参加費：医師15,000円 コメディカル8,000円(宿泊は別途7500円にて承ります)

定 員：先着60名

申込み：当研究会ホームページより申込用紙をダウンロードの後、FAXにてお申込み下さい。

FAX番号：042-362-1601(宛先：ノボルディスクファーマ(株) 中村・坂本)

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位(申請中)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

□ 第26回 東糖協多摩ブロック糖尿病教室 (※お申し込みは不要です)

テーマ：日頃の疑問を解決してみませんか?

開催日時：平成22年11月6日(土) 14:00～16:00

場 所：七生公会堂

(京王線「高幡不動駅」より徒歩7分 または 多摩モノレール「高幡不動駅」より徒歩5分)

参加費：無料(どなたでも参加できます)

問合わせ先：(社)日本糖尿病協会東京都支部事務局 (TEL: 03-3373-0768)

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

研究会他のお知らせ

 直接事業
 間接事業
 その他

 第3回ブルーライトアップスライタワー西東京（※お申し込みが必要です）

テーマ：世界糖尿病デー啓発イベント 糖尿病を知ろう！

開催日時：平成22年11月14日（日） 16:00～18:00（※雨天決行）

場所：スライタワー西東京（タワープラザ地下1階会議室）

（西武新宿線「田無駅」下車 田無ファミリーランド運行の無料シャトルバス有り

または西武バス 南沢5丁目経由・ひばりヶ丘駅 行き「西原グリーンハイツ前」下車 徒歩8分

ー西武新宿線「花小金井駅」下車 タクシー約7分、徒歩約20分）

参加費：無料

申込み：同封の申込用紙にご記入の上FAXにてお申し込み下さい。

FAX番号：042-322-7478（宛先：当研究会事務局）

 第4回多摩地区下肢救済・フットケア研究会（※お申し込みが必要です）

開催日時：平成22年11月20日（土） 13:00～17:00

場所：杏林大学医学部付属病院 大学院講堂 2病棟4階

（JR中央線「三鷹」駅 下車 バス仙川・昇華学園東・新川団地中央行「杏林大学病院前」下車約20分）

参加費：無料

申込み：当研究会ホームページより申込用紙をダウンロードの後、FAXにてお申し込み下さい。

FAX番号：042-246-6138（宛先：杏林大学医学部 形成外科 大浦紀彦）

 糖尿病患者さんのための歯の健康相談会（※お申し込みが必要です）

テーマ：知ろう、予防しよう、歯周病と糖尿病

開催日時：平成22年11月21日（日） 14:00～18:00

場所：国分寺市立いずみホール（JR中央線またはJR武蔵野線「西国分寺駅」南口より徒歩5分）

参加費：無料

申込み：同封の申込用紙ご記入のうえFAX、またはホームページよりお申し込み下さい。

FAX番号：03-3904-3615（宛先：SUNSTAR（株））

【URL】<http://hanokenkosodan.com>

 NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 第48回例会（※お申し込みは不要です）

テーマ：CDEは街に出よう！

開催日時：平成22年11月27日（土） 15:00～18:25

場所：武蔵野スイングホール（JR中央線「武蔵境駅」北口より徒歩2分）

参加費：当研究会会員 無料 / 一般 1,000円

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位（申請中）

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

★日糖協療養指導医取得のための講習会（申請中）

 第11回西東京EBMをめざす糖尿病薬物治療研究会（※お申し込みが必要です）

テーマ：糖尿病の新治療（既存薬剤と新しい薬剤の併用など）

開催日時：平成22年12月11日（土） 15:00～18:35

場所：国分寺駅ビル 8階 「Lサロン（飛鳥）」（JR中央線「国分寺駅」徒歩0分）

参加費：1,000円

申込み：メールにてお申し込み下さい。【E-mail】Eiji.Sakaizawa@sanofi-aventis.com

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位（申請中）

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

★日本医師会生涯教育制度3単位6カリキュラム（対象カリキュラト[®]：5, 8, 10, 13, 15, 76 申請中）

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802号

TEL：042(322)7468 FAX：042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net> Email:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp